



薬研



※「薬研」とは、昔本院で漢方薬を調剤する際に、薬種を砕いたり、粉末にするために使用した器具で、正面玄関に飾ってあります。
※ 当院は①日本医療機能評価機構②人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

キナシ大林病院 統合プロジェクト — 第2病院 本院へ統合 —



平成17年本院が現在の場所に移転し約5年間、本院と第2病院に別れ急性期から慢性期の医療を行ってきました。しかし、旧北館を改修した第2病院の老朽化等の事情により、現在第2病院にある療養病棟を本院敷地内に増築統合することとなりました。

統合計画の概要は、本院西側駐車場部分に、1階は現状のまま駐車場、二階に病棟を配置、本院とは渡り廊下で繋ぐ計画です。

病棟については、明るい病棟をコンセプトに、中心にナースセンター・ゆったりしたデイルームをおき、4床室12部屋、2床室1部屋、個室5部屋を配置しています。又、特殊

浴室については、カプセル浴と専用の車椅子で入浴できる最新の浴槽設備を導入予定です。

約1年前より検討をはじめ統合プロジェクトを進めてきましたが、いよいよ来春の完成を目指しこの夏、建設工事が着工されます。



事務長 合田 博史

病院が2箇所に距離的に離れていることにより、転院等で患者さんにはいろいろご迷惑をおかけしておりましたが、統合することにより、急性期から慢性期までより充実したシームレスな医療を提供できると確信しております。

今後も地域に貢献できる病院として更なる進化をしていきたいと思えます。



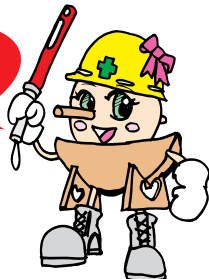
病院の理念

- 患者さん中心の医療
- 高水準の医療の提供
- 地域の健康を支える病院
- 働きがいのある職場づくり

患者・家族の皆様の権利

- 良質の治療を受け、安全が確保される権利
- 自己決定権および選択の自由の権利
- 尊厳を確保する権利
- 個人情報の機密保持と医療情報の開示を受ける権利
- 健康教育を受ける権利

新館
工事だよ



コラム

サッカーお国柄 オレンジ・オランダ

理事長 おおばやし 公一

ワールドカップ(W杯)南アフリカ大会、日本は予選でオランダ、デンマークと戦います。私は30年前学生時にヨーロッパ放浪中、両国に滞在したことがあります。

2国ともすばらしい芝生コート(山がないオランダでのプレイ環境は特に最高で、普通のクラブでも最低3面以上の所有)で、選手にとってタックルが楽しくなるような芝の快適さ、スライディングすると傷だらけになる日本の痛い土コートと大違い。

オランダでは、「答えは選手が見つかる」のが当たり前の方針で、子供の選手でも、試合中に監督(コーチ)たちがあれこれ指示すると「試合中にうるさいよ」と怒鳴り返していました。日本の子供はコーチから聞いたことを頭に入れておいて判断して動いているような従順な面があり、同じスポーツでも、国によって育成方針もずいぶん違うのに驚きました。

南アフリカは、思いつきゆるゆる(時間の感覚その他)な国のようなのですが、ヨーロッパも南に行くほどゆるくなります。イタリアではローマのユースホステル、泊れたはよいが、近くのサッカー場で毎週末プロサッカー試合があり深夜までどんちゃん騒ぎで全く眠れません。花火が勢い余って室内に遊びに来る始末でした。



TRIANGLE

～キナシ デキゴトロジー～

■キナシ大林病院における様々な出来事に対して、多方面の『角度(ANGLE)』から意欲的に接近しようとする『試み(TRY)』
■病院の立地⇒『川』『鉄道』『道路』に囲まれた、『トライアングル(TRIANGLE)地帯』



キナシ大林病院
すみれ保育所
だより

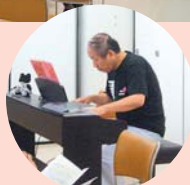
こどもの日:こいのぼりを前に「はい!ポーズ!」



●スプリングコンサート



最後には観客と
一緒に童謡など
を歌いました。



演奏中の黒住副院長

鬼無稚児桜が咲きました。



まだまだ小さい花ですが、
いただいた稚児桜
が咲きました♪



整形外科

整形外科 部長 ^{まなべ} 眞鍋 ^{たけし} 健史



当科では3人の整形外科専門医が常勤し、治療に当たっております。

当科の特徴は大学と連携した専門性です。現在大学から非常勤で股関節、膝関節、腫瘍、脊椎(頸、腰)、上肢、骨代謝それぞれの専門の先生が診察をされており、大学と同レベルの手術を含めた治療が可能となっております。当院 Drも関節、骨代謝、リハビリ、外傷、透析の学会に属し、またスポーツの認定医として専門性を持って治療を行っております。特に最近では骨粗鬆症に対する治療を積極的に行い骨折の頻度を減らそうと頑張っております。

もうひとつの大きな特徴は手術をした場合の術後のケアにあります。変形性膝関節症や股関節症では積極的に人工関節置換術を施行しておりますが、他院と比較しリハビリに携わる療法士が多いため術後も転院をせずに最後まで十分なリハビリの期間を当院でとっていただくことができます。骨、関節、筋、靭帯、神経でお困りのことがあればいつでもどうぞ!

診療科紹介

※診療日など詳しくはホームページをご覧ください。

泌尿器科

泌尿器科 部長 ^{のむら} 野村 ^{いさく} 伊作



近年の高齢化社会において泌尿器科の需要は高まっています。しかし一般に泌尿器科は敷居が高く受診しにくい部分があります。過活動膀胱を例に取れば、潜在的な患者数は日本全国で400万人とも言われていますが、その内、適切な治療を受けているのはごく僅かです。男性に特異な前立腺肥大症も60歳以上ではその罹患率は50%を超えると考えられますが、多くの方は症状が年齢等のためと考え受診されないことが多いようです。PSA検診が普及した前立腺癌ですが、現在日本の前立腺癌罹患率は男性の癌の6番目なのが2020年には肺癌に次いで2番目になると予想されています。さらに受診率の向上が必要です。

当院では現在泌尿器科指導医一名、専門医一名の二名にて診療を行っております。香川大学と連携しながらも大きな施設では行いにくい木目の細かい診断、治療を行っています。是非気軽に泌尿器科の門を叩いていただきたいと思います。

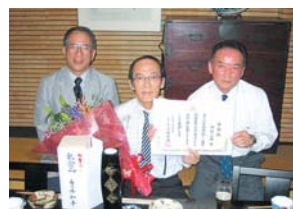
祝 香川県知事表彰(保健衛生功労) 阿部二郎 診療技術部部长 おめでとうございます。

放射線科 部長 ^{こじま} 児島 ^{かんじ} 完治

このほど、2010年憲法記念日知事表彰を診療技術部部长である阿部部長が受賞されました。阿部部長は1971年赴任以来、放射線技師として第一線で活躍され、その間、香川県放射線技師会の理事として、県内の放射線技師の資質向上、県民の保健衛生や地域医療に寄与してこられました。このことが、大きな受賞理由です。

当院においては、他院に先駆けてシンチグラフィ、CT、血管撮影MRI装置を導入し、県下で常に最先端の画像診断を行える病院としての体制を整えてこられました。現在は、放射線科、薬剤科、検査科、リハビリテーション科、CE(臨床工学)科、栄養科を統合管理する部長として活躍されています。

このたびは、誠におめでとうございます。



写真中央 阿部 二郎 診療技術部部长
写真左 児島 完治 放射線科部部长
写真右 瀬 誠二 放射線科科长

職場紹介

神経内科・心療内科

Zoom in

おおばやし こういち
理事長 大林 公一

当科では、認知症、パーキンソン病などの神経疾患、うつ、心身症などの心身疾患、不眠、無呼吸、過眠などの睡眠障害、リハビリテーションを要する病気などの診断、加療を担当しています。

日本心身医学会・リハビリテーション医学会・精神神経学会・認知症学会・老年精神学会などの研修・認定施設として、研修医の教育・指導の役割も担っております。

大林、早原敏之部長（リハビリセンター長）、本年4月より着任した高田裕部長の3人の常勤医師と、非常勤の白杵豊之医師（金曜）、児島敦子医師（隔週木曜午後）、計5

人の医師が、各曜日の外来を担当しています。

臨床心理士（学会認定医療心理士）、専任看護師も常駐し、自己管理が必要な腎不全、糖尿病などの患者さんに対してのチーム医療や、院内外のメンタルヘルス活動にも貢献しています。

年々、外来患者数が増加しており、予約時間どおりの診察が困難な日が増えて、ご迷惑をおかけしております。どうかご了承ください。



前列右から 大林公一（おおばやし こういち）理事長、児島敦子（こじま あつこ）医師、高田 裕（たかた ひろし）医師、早原敏之（はやはら としゆき）医師
後列右端 白杵豊之（うすき とよゆき）医師

新任医師紹介

4月より勤務させていただいております高田と申します。この場をお借りして自己紹介をさせていただきます。

昭和34年岡山市のほぼ中心で生まれ、その後岡山からはほとんど出ることなく現在に至っております。昭和60年に医師となり、最初は病理、次に神経内科を15年専門として経験してまいりました。ヒトの神経系、とりわけ中枢神経はまだまだ分からない事が多く、私の不勉強はさておき、解明できない事が多いと実感しております。ご迷惑をおかけする事も多いかと存じますが、これからよりよい医師となるべく努力する所存でございます。ご指導・ご鞭撻等よろしくお願ひ申し上げます。



神経内科部長
高田 裕

HD

透析室の現況

透析室師長 藤岡 文子



当院透析センターは、昭和43年に四国で初めて透析を開始し42年になります。透析患者総数320名（腹膜透析30名を含む）、血液透析患者290名のうち、透析年数20年以上21名、25年以上22名、30年以上28名、35年以上6名の77名で1名を除き、全患者さんが外来通院されています。最長透析患者さんは今年40年目を迎えられました。いろいろご苦勞をされて今日があると思います。

40年間に透析治療も進化しました。①社会福祉制度の確立（自立支援医療の保障）②透析液が重曹に変更③貧血治療薬EPO（エリスロポエチン）の開発 ③透析機器の進化により、その人に応じた治療方法の選択肢が増えました。これらは大きく変貌を遂げ日常生活を円滑にしたと思います。

現在は高齢化、長期透析に伴う合併症などで苦しんでいる患者さんも多く見受けられます。何か困ったこと、ご相談などがあれば、お気軽にお声をおかけください。

よろしくお願ひします。そら豆商事です。

働ける喜びに感謝

そら豆商事 責任者 長尾 義行



私たち「そら豆商事」従業員は、透析治療を受けながら院内の売店・クリーニングの取次ぎ・給食材料の納入・果物やパン販売などの事業を行っています。また、月2回、老人ホーム（大寿苑）への出張販売も行っています。営業時間は朝8時～夕方5時30分迄、毎週月曜日から土曜日迄営業しており、祭日も少しでもお役に立てればと営業しております。

「そら豆商事」は社会復帰の足掛かりとして、病院のご厚情により昭和53年に設立しました。何人もの先人が巢立ち、現在では男性5名・女性3名で運営しています。レジ担当・市場仕入担当・事務担当などそれぞれ業務を分担しています。平成17年5月に移転してきて、新しい場所での嬉しさ戸惑いもありましたが、弁当の発注などの仕事も増え、順調に良いスタートをきることができました。また、毎朝の新聞配り、入院患者さんからの注文・配達業務もありがたくさせていただいております。

健常者の方々に負けない体力と自信、働ける喜びに感謝しながら日々邁進していきたいと思ひます。今後とも「そら豆商事」をよろしくお願ひいたします。



新任医師 紹介



医師 いわの ひろみ
岩藤 広美

岩藤広美です。“いわどう ひろみ”と読みます。キナシ大林病院では2年間人間ドック担当で非常勤として勤めていましたが、このたび4月より常勤医として働くことになりました。

香川大学では循環器・腎臓・脳卒中内科に所属しておりますが、現在の専門領域は一般内科になります。

病院での担当部署は人間ドック、病棟になります。みなさんよろしくお祈りいたします。

研修医 紹介



研修医
きたの よういち
北野 洋一

6月から研修させていただいている、香川大学研修医の北野です。

こちらに来てまだ1週間ですが、みなさんに優しくさせていただいて、とても楽しく研修しています。

主に、胸部写真読影、放射線科、透析など腎臓内科の研修を受けています。どちらも奥が深く、興味深い分野で、毎日が新鮮です。3ヵ月間と短い間ですが、よろしくお祈りいたします。

新

職員紹介

- ①職種
- ②部署
- ③採用日
- ④出身地
- ⑤趣味



きくこ かのこ
城戸 加代子
①看護師②透析③
4.1④徳島県⑤映
画鑑賞・旅行



ゆいし めい
森石 裕美
①看護師②4階病
棟③4.1④香川県
⑤スポーツ



おおさか なおみ
大藪 直美
①看護師②5階病
棟③4.8④香川県
⑤ドライブ



こまつ りょうた
小松 良太
①看護師②透析③
5.6④香川県
⑤読書



おおいし ひろみ
大西 裕美
①看護師②7階病
棟③5.17④中国
⑤読書・料理



おおはし めぐみ
大橋 恵
①看護師②6階病
棟③6.1④静岡県
⑤ドライブ



しんみや おうこ
新名 陽子
①看護助手②4階
病棟③4.1④香川
県⑤ソフトボール・
ソフトバレーボール



おおくら なお
大倉 菜緒
①保健師②人間ドッ
ク③4.1④和歌山
県⑤買い物



みい やすこ
三井 靖子
①保健師②人間ドッ
ク③4.1④香川
県⑤映画鑑賞



うちみ かずみ
内海 和美
①検査技師②検査
科③4.1④香川
県⑤ソフトバレーボ
ール



かねこ ゆい
金場 佑衣
①理学療法士②リ
ハビリテーション科
③4.1④香川
県⑤スポーツ観戦



かきはら としり
柿原 稔永
①理学療法士②リ
ハビリテーション科
③4.1④香川
県⑤寝ること



ひらおか ひさし
平岡 久志
①臨床工学技士②
CE科③4.1
④愛媛県⑤読書



ききもと ひろゆき
切本 弘之
①臨床工学技士②
CE科③4.1
④愛媛県⑤音楽鑑
賞



つじ あきら
辻 彰
①臨床工学技士②
CE科③4.16
④愛媛県
⑤釣り



ふくもと まさたか
福本 真隆
①臨床工学技士②
CE科③4.19
④兵庫県⑤読書



くろだ かずみ
黒田 佳織
①放射線科技師②
放射線科③4.16
④広島県⑤子育て・
ランニング



いぬち かずゆき
井口 和枝
①調剤員②栄養科
③6.1④香川県⑤
編み物・犬と散歩

声・こえ・Feed back・フィードバック

御意見箱に寄せられた皆様方のご意見と、病院長からの返答を抜粋で記載します。
(期間：平成22年4月～6月)

- Q** 午後の受付時、みんながきちんと待っているのに順番を守らない人がいる。病院から注意してもらえないか。
- A** 受付に張り紙をするなど注意喚起をしてみたいです。
- Q** 喫煙所の表示がなく何処にあるか分からない。
- A** 「入院案内」に喫煙場所を入れるようにいたします。
- Q** 糖尿病で通院しています。診察だけでなく、食事や運動療法の指導をして欲しい。
- A** 毎週金曜日（第4金曜を除く）午後1時20分～2時に4階カンファレンス室で糖尿病教室を行っています。また、食事や運動などの指導も行っています。参加をお待ちしています。
- Q** 玄関周りの清掃が出来ていない。汚い。
- A** 以後、清掃を徹底いたします。

慢性腎臓病 (CKD) は、第二の生活習慣病!?

【CKD啓発活動より】

栄養科主任 難波 美恵子

慢性腎臓病 (CKD) は、まれな疾患ではなく、日本の成人の7人に1人、約1,330万人います。心臓や脳などの血管病を起こしやすく、透析患者さんの予備軍です。メタボリック症候群につづき、第二の生活習慣病と言われ、「①血圧が高い (高血圧)」「②血糖が高い (耐糖能異常、糖尿病)」「③脂質が高い (脂質異常症)」⇒こんな“三高”

は×!! 第一に生活習慣の見直し (禁煙、減酒、肥満の改善、食事療法、運動など) をするために腎臓病教室へどうぞ。

腎臓病教室	とき 毎月第4土曜日午後1時～2時 ところ 3階会議室
糖尿病教室	とき 毎週金曜日(第4金曜を除く)午後1時20分～2時 ところ 4階カンファレンス室
心臓病教室	とき 毎月第4金曜日午後1時15分～2時 ところ 3階会議室

合格おめでとうございます

医師事務作業補助者	三好 佐苗	医師G、事務員
診療報酬請求事務能力認定	上西奈保美	医師G、事務員
日本糖尿病療養指導士	川西友里香	医師G、事務員
超音波検査士	藤川 智広	リハビリ、理学療法士
	田辺 啓介	検査科、検査技師

診療実績

	3月	4月	5月
外来患者数	13,275人	13,236人	13,088人
新入院患者数	182人	177人	177人
退院患者数	172人	170人	185人
地域医療支援病院紹介率	21.20%	22.70%	18.50%
救急車搬入件数	37件	32件	39件
救急車搬入後の入院数	23人	20人	19人
手術件数	52件	63件	46件

編集後記

新病院に移転して既に5年が経ちました。移転前の職員全員の新しい病院に向けての「一丸となったパワー」が思い出されます。再び、第二病院統合という大きなプロジェクトが始まります。新しいもの、新しいこと、新しい人がくると、期待と挑戦する意欲で人は元気にあります。最新の心臓超音波検査装置が入り、循環器の医師たちもハッスルすることでしょう。新任の高田先生加入により神経内科もさらに元気になるでしょう。

医療法人財団博仁会

キナシ大林病院
キナシ大林第二病院

(本院) 〒761-8024 香川県高松市鬼無町藤井435-1
TEL 087-881-3631 FAX 087-881-3867
人間ドック(直通) TEL 087-881-3218
(第二病院) 〒761-8023 香川県高松市鬼無町佐藤74-1
TEL 087-881-3632 FAX 087-881-4209